

※2023年5月2日～2025年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	なかにし のりお 中西 紀夫	職名	教授（修士（法学））
専門分野	基礎法学、環境法、刑法		
所属学会	日本私法学会、ビジネス・ロー研究会（名城）、日本刑法学会（名古屋部会）、日本経営学会、実践経営学会		
担当科目	法学入門、日本国憲法概論、公務のための法学、都市環境と法、政策法務、入門演習 a、基礎演習 a・b、専門演習 a・b・c・d、キャリア基礎Ⅱ・Ⅲ		
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		概 要	
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	<p>2025年度から1年次の『入門演習』を担当しており、本の読解力に重点を置いて指導している。また、毎回、予習や復習の確認を行っている。</p> <p>2年次の『基礎演習』や、3年次から4年次までの『専門演習』では、各自が法学や環境法の知識を深めながら、最近の新聞等で掲載されているような社会問題も素材として、主体的に調査したうえで自分自身の意見を持つことの大切さを伝えている。</p> <p>一般講義の法律科目では、必要に応じて、添削指導を前提としたレポートや授業で説明した内容の自己採点チェックテストを導入しているものもある。また、少人数の授業では、学生による教科書の講読も取り入れている。</p> <p>公務員対策の授業では、必要に応じて小テストも実施し採点后、次の週には答案用紙を学生に返却するようにしている。</p>		
2. 作成した教科書、教材、参考書	<p>講義用に作成した教材</p> <p>『法学入門』、『日本国憲法概論』で使用してきた配布資料は、新聞や判例集以外はほとんど自分で執筆し、作成したものである。また、これらの科目では、各回で作成した確認問題を導入している。</p> <p>『公務のための法学』では、資料を編集して印刷した過去問や自らが執筆したプリント類も使用している。</p> <p>『キャリア基礎Ⅱ』のテキストでは、「自己分析実習①過去の自分を振り返る」の箇所の作成を行っている。</p>		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	なし		
4. その他教育活動上特記すべき事項	<p>講座名『書をひもとく秋の夜長』団体名：四日市大学、会場：四日市地場産業振興センター<じばさん></p> <p>2023年11月18日に学習プログラムの第3回目の担当として、講義タイトルは『仕事に新たな視点を～「多動力」を参考に～』である。参考図書は、『他動力』堀江貴文（著）幻冬舎（2017年）を使用した。ここでは、まず自分自身が本書を参考にしていることとお話ししたうえで、仕事へのストレス軽減やモチベーション向上に有効ではないかと感じていることをお伝えした。ただし、あくまで自分に足りないところを補うという視点でお読みいただきたいということもあわせてお話しした。</p>		
II 研究活動			
なし			
III 社会における主な活動			
学会活動			
2023年5月2日～現在に至る	ビジネス・ロー研究会（名城）顧問		